

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（112）
2. 日 時：令和3年4月9日 13時30分～18時15分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

止野上席安全審査官※、植木主任安全審査官、片桐主任安全審査官、
皆川主任安全審査官、土居安全審査専門職、服部安全審査専門職
技術基盤グループ 地震・津波研究部門
堀野技術参与

東北電力株式会社：

原子力本部 原子力部 課長、他6名※

5. 要 旨

- （1）東北電力株式会社から、女川原子力発電所2号炉の工事計画補正申請のうち、「メカニカルスナッパの評価手法」及び「サプレッションチェンバの耐震評価」について、提出資料に基づき説明があった。
- （2）これに対し、原子力規制庁は以下の点について指摘等を行うとともに、今後、説明内容について引き続き確認することとした。

<メカニカルスナッパの評価手法の精緻化について>

- 既工認及び今回工認のメカニカルスナッパの耐震評価手法について、J E A G 4 6 0 1における規定との関係も含め、それぞれの評価手法を整理して説明すること。
- 機能部品の機能維持に対する荷重評価において、既工認ではリリース試験を実施しているが、今回工認ではリリース試験を不要としている考え方を整理して説明すること。
- メカニカルスナッパの改造が容易でないとしている理由について、他の配管サポートとの関係も踏まえ、整理して説明すること。
- 電共研等による既往知見の概要について、試験に使用した型式の代表性、試験装置など、試験内容の詳細を整理して説明すること。
- 電共研の試験による耐力確認荷重として、引張方向と圧縮方向のうち大きい方の荷重値とする考え方を整理して説明すること。

- 電共研の試験による限界耐力値の算出方法を整理して説明すること。
- 電共研の試験の妥当性について、確性試験との比較だけでなく、電共研の試験条件の妥当性を整理して説明すること。

<サプレッションチェンバの耐震評価>

- 3次元はりモデルと3次元シェルモデルによる固有値解析結果の振動モードの比較について、それぞれのモデル化の差違項目の観点から、振動モードが異なっている理由を整理して説明すること。
- 3次元はりモデルと3次元シェルモデルにおける各部の応力算出方法を整理して説明すること。
- 3次元はりモデルと3次元シェルモデルによる発生応力の違いについて、その要因を整理して説明すること。
- 3次元はりモデルにおけるサプレッションチェンバ本体のモデルについて、質点位置の設定の妥当性を整理して説明すること。

(3) 東北電力株式会社から、(2)について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- (1) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（耐震基本方針）（〇2-他-F-19-0004__改11）
- (2) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（耐震評価：サプレッションチェンバ）（〇2-他-F-01-0036__改4）
- (3) 補足-600-26 メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について（〇2-補-E-19-0600-26__改2）
- (4) 補足-600-11 サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等についての補足説明資料（〇2-補-E-19-0600-11__改5）
- (5) VI-2-3-3-2-1 炉心支持構造物の応力解析の方針（〇2-エ-B-02-0013__改0）
- (6) VI-2-3-4-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針（〇2-エ-B-02-0008__改0）
- (7) 補足-600-40-16 原子炉压力容器関連及び原子炉格納容器関連の耐震計算書及び強度計算書の構成について（〇2-補-E-19-0600-40-16__改0）
- (8) 補足-600-40-17 原子炉压力容器関連及び原子炉格納容器関

- 連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と応答倍率評価について（〇２－補－E－19－0600－40－17__改0）
- （9）補足－600－40－18 原子炉压力容器の耐震性についての計算書における斜角ノズルの評価方針についての補足説明資料（〇２－補－E－19－0600－40－18__改0）
 - （10）補足－600－40－21 原子炉压力容器基礎ボルトの耐震計算に用いる縦弾性係数の比（〇２－補－E－19－0600－40－21__改0）
 - （11）VI－2－3－4－3－1 原子炉压力容器内部構造物の応力解析の方針（〇２－工－B－02－0014__改0）

以上